

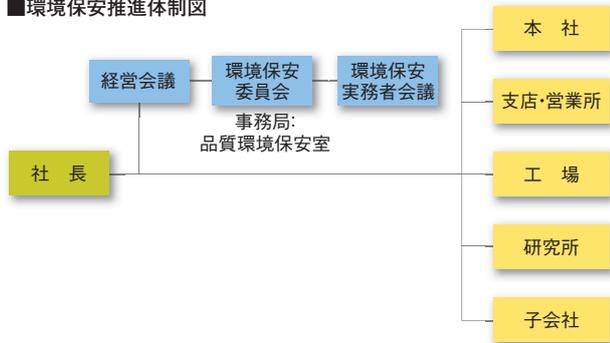
# 環境マネジメントシステムの推進

荒川化学グループでは、「環境保安基本方針」および「環境保安行動指針」を基に各事業所で計画を立て環境に配慮した活動を実施しています。

## ■環境保安推進体制

環境保安委員会は、保安担当役員を委員長に、実施責任者である関連部門長(品質環境保安室長、総務部長、研究所長、生産統轄部長、大阪工場長、富士工場長、水島工場長、小名浜工場長、水島工場品質環境保安課長)をメンバーとし、全社的な取り組みを確実なものにするため社長も参加して年1回定例会議を開催しています。この定例会議では、前年度の活動実績報告および当年度の環境保安年度計画を審議しています。

### ■環境保安推進体制図



## ■ISO14001/エコアクション21の認証取得状況

日本国内においては、荒川化学の大阪・富士・水島・小名浜の主力4工場とペルノックスが環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証取得をしています。また、高圧化学では、2008年度にエコアクション21を認証取得しました。2009年度は、それぞれ維持・更新審査を受審し合格しています。

### ■国内の取得・審査状況

事業所名	登録番号	認証取得日	審査実施日
水島工場	JQA-EM0369	1999年3月12日	2010年2月23-25日
富士工場	JQA-EM1427	2001年3月16日	2010年2月8-10日
小名浜工場	JQA-EM1577	2001年5月18日	2009年5月20-22日
大阪工場	JQA-EM1590	2001年5月25日	2009年5月12-13日
ペルノックス	JQA-EM3719	2004年1月30日	2009年12月3-4日
高圧化学	エコアクション21 0002736	2008年8月1日	2009年6月8-9日

※ISO14001の審査登録機関は、すべて(財)日本品質保証機構、エコアクション21は(財)地球環境戦略研究機関です。

※大阪工場は、研究所、研究工場を含んでいます。

海外グループ会社においては、廈門荒川化学、台湾荒川化学が2007年にISO14001認証を取得しており、2009年は維持審査を受審し合格しています。また、2009年には、南通荒川化学もISO14001の認証を取得しました。

### ■海外の取得・審査状況

事業所名	登録番号	認証取得日	審査実施日
廈門荒川化学	206932	2007年1月31日	2009年10月19~21日
台湾荒川化学	TW07/0113EM	2007年10月17日	2009年9月23日
南通荒川化学	00109E22023ROS/ 3200	2009年10月28日	2009年10月13~14日

## Voice



南通荒川化学工業有限公司  
王月琴

南通荒川ではISO14001認証取得にあたり、各部門の積極的かつ真摯な協力を得たおかげで、2009年10月に無事取得することができました。ISO14001認証のための勉強を通じて、従業員は環境保護、省エネルギー、廃棄物の再生利用、生産コストの低減などが会社にとっていかに重要かを十分に認識しました。今後はさらに、品質管理のレベルアップとともに製品開発時の環境配慮、顧客やサプライヤーに

対しても環境保護への理解を訴えていきたいと考えています。



## ■その他事業所の環境マネジメントシステム

釧路・徳島・鶴崎の各工場は、エコアクション21荒川版を構築し、2009年度から運用を始めました。

本社、支店、営業所については、2010年度中には環境マネジメントシステムを構築する予定です。

## ■環境保安監査

荒川化学グループでは環境保安管理規定に基づき、品質環境保安室が毎年、本社、支店・営業所、工場、研究所および国内連結製造子会社の内部監査を実施しています。

2008年度からは、環境および安全に関する重要なリスクを選定して、そのリスクに対して適切に対処しているかという視点から監査を進めています。2009年度は、リスクに対して適切に対処していることを確認しました。

2010年度は、各部門が現在抱えている課題・問題という点を重視した重要リスクの選定を行い、さらに有効な監査へとレベルアップを図ります。